

|     |     |     |      |     |
|-----|-----|-----|------|-----|
| 供 覧 | 校 長 | 教 頭 | 教務主任 | 事務長 |
|     |     |     |      |     |

佐賀市城北地区学校運営支援室協議会

平成20年度 第\_\_\_\_回

|      |   |
|------|---|
| 開催期日 | 平成21年2月5日(木) 10:00~12:00  |
| 実践会場 | 城北中学校 校長室   |
| 実践内容 | <p>○司会 城北中・吉原事務長<br/>         ○会長挨拶(城北中・石丸校長)<br/>         共同実施の当初の目的である事務の効率化と、その結果として期待される学校経営への参画と教員の負担軽減など、来年度への期待。</p> <p>○市教委学事課・学校支援係<br/>         H18より市の重点プロジェクトに学校事務改善が掲げられており、20年度からの共同実施もてこ入れする形で展開。佐賀市独自のハードな展開は、県教委まで届いている模様</p> <p>○本年度の取り組みについて<br/>         吉原事務長…年間業務報告とブログ資料と同時進行。共同実施内容の詳細説明。<br/>         ・諸帳簿点検の所要時間・備品購入の入札率・OJT事例・県への電算提出や相互審査</p> <p>山田事務長…諸帳簿点検の有用性、SAなど事務の集中管理、諸手当認定の相互審査事務の精度を上げられた。来年度は諸手当の認定担当を定めた審査はどうか。</p> <p>田中事務長…共同実施の概念が出て10年目にして全県実施。従来の個々の業務にプラス共同実施が上乘せの現状。しかしながら相互審査による豊富な事例研究は有意義である。当支援室では返納が一件も無かった事から、その成果も現れている。課題は担当制と組織化。</p> <p>伊東…共同実施体制が整うまでの多忙な過渡期。安定までは、今後一層の取り組みが必要。また共同実施で得られた知識・情報・実践を、職員・児童生徒へも分かる形で発信する力量を備えることも重要。</p> <p>共同実施主任 大和中・吉原事務長<br/>         加配効果としての共同実施主任配置だったが、実践会議への出席に終始し、十分な力になれなかったように思われる。<br/>         支援室ではどこでも懸命な実践を行っており、敬意を表する。</p> <p>吉原事務長…総括および来年度の計画について。</p> <p>(それぞれより意見・質問・提言等)</p> |
| 備 考  |   |